



## 福岡 福岡民医連が財政支援を要請

7月29日福岡県庁で要請行動を行いました。「病床のひっ迫も含めて厳しい状況が現場から上がっていますし緊急に県として対応を急いでほしい」と訴えました。

申し入れでは、現在も供給が不十分のマスクやガウンなど感染防護資材の確保や、PCR検査体制の強化などに迅速に対応するように求めました。NHK NEWSでも報道されました。

民医連が県に財政支援など要請 **NHK NEWS WEB**

07月29日 12時45分



福岡県内で新型コロナウイルスの患者を受け入れている医療機関などが加盟する団体が、県に対し、医療機関への財政支援や感染防護資材の早急な確保などを要請しました。

福岡県庁を訪れたのは、県内のおよそ80の病院や診療所などが加盟する「福岡県民医連福岡連合会」で、県内でも感染拡大が続く新型コロナウイルスへの対応をめぐり、要請書を提出しました。

要請書は、医療機関では新型コロナウイルスの患者だけでなく、感染が疑われる人へ

### 全日本民医連「平和の波」交流会の プロモーションビデオができました!!

8月8日(土)の15時~17時で開催「民医連平和の波交流会」の企画を紹介するプロモーションビデオを作成しました。全日本民医連のホームページにもアップしていますので是非ご活用いただけたらと思います。

当日は zoom ほかに YouTube でも同時視聴できます。YouTube は予約不要ですが zoom で視聴いただく場合は予約が必要です。現在申し込みは 60 件を超えました。上限は 100 件ですので、zoom を検討中でお申し込みがまだの方はお早めにお申し込みください。

有意義な企画になるよう準備を進めています。皆様のご参加をお待ちしています。



### 全日本民医連事務局 「平和の波」プレ企画

#### 上野東照宮「広島・長崎の火」を訪れました

全日本民医連事務局の「平和の波」プレ企画として上野東照宮内の「広島・長崎の火」を訪れました。天候にも恵まれほどよく曇り事務局から往復40分歩いて向かいました。8名が参加し木下次長に「広島・長崎の火」の由来などを説明していただきました。

この「広島・長崎の火」について紹介します。広島原爆投下後惨禍を生き抜いた山本達雄さんは叔父の家の廃墟にくすぶっていた原爆の火を故郷の福岡県に持ち帰り「恨みの火」として、ひそかに灯し続けました。そして長い年月を経て「核兵器をなくし平和を願う火」として全国で灯されるようになりました。その「火」と「想い」が受け継がれ今は国内に45か所、国外にも2か所に灯り続けています。

上野東照宮にあるこの「広島・長崎の火」は2021年3月に福島県の檜葉町にある宝鏡寺に移設されることになりました。

